

A-LAB Exhibition Vol.48

SUMMER FACTORY

今や！ワークショップ「モビールで暑さを作ろう」成果物！A-LAB GO+！2024



夏休みに
みんなで参加！

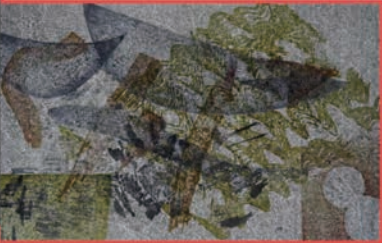


今や！耳でみえる、目をさます！2019



松原道雄！急雨！2023

見て、つくって、



アート体験！



三木梨々花！バグとあそび！2023



三木梨々花！なんでも無邪気な！2023

2025.7.26 土ー9.15月・祝
午前10時ー午後6時 火曜日休館 入場無料

会期	2025 年 7 月 26 日(土)～9 月 15 日(月・祝)
開館時間	午前 10 時～午後 6 時 ※ 9 月 13 日(土)と 14 日(日)の午前 10 時 30 分から午前 11 時はワークショップ開催のため和室はご覧いただけません。
会場	A-LAB (えーらぼ) 尼崎市西長洲町 2-33-1
休館日	火曜日
入場料	無料
主催	尼崎市

開催要旨

この度 A-LAB では、展示作品を観るだけではなく、鑑賞者も参加できる展覧会として「SUMMER FACTORY」を開催します。

アートを見ることと作ることは、私たちにとってまったく別のものなのではないでしょうか？出かけた先でアートに触れて私たちが感動するのは、誰かが作品を生み出してはじめて可能になることです。それぞれに行われるものと思われがちな鑑賞と創作の行為を、同じ場で体験できてしまう、そんな展覧会を開催します。

アート発信基地「A-LAB」は、若手アーティストの発表を支援し、アートを鑑賞できる機会をつくってきました。また夏休みには市内の公共施設で、アーティストによる創作体験教室「A-LAB GO+」を行っています。講師は、普段は美術館やギャラリーなどで作品を制作しているアーティストたちです。アーティストを介すると、素材や技法はひとつの表現に変化し、アートが生まれます。それを追体験することは作品を理解する手がかりともなり、鑑賞体験を豊かにしてくれます。

本展では、昨年 A-LAB GO+に参加したアーティストユニット今今、柴原直哉、そして新たに紹介する三木梨々花の3組のアーティストが A-LAB で展示を見せてくれます。今今は日常にあるささやかな事象をすくい取り空間を構成します。柴原直哉は木版画の複数性を生かしたアニメーションを展示。三木梨々花は表情豊かな子どもを身近な素材で表した作品で空間を彩ります。また会期中のイベント「アーティストワークショップ」は彼らが講師となり、「いつでもだれでもワークショップ」は彼らがプロデュースした作家不在で行える内容です。この鑑賞・創作体験に参加した方は、展示に自らの作品を加えることができます。このような鑑賞と創作の間を行きつ戻りつするような体験は、アートをもっと身近に、そして新たな楽しみ方を教えてくれるでしょう。

問い合わせ先

A-LAB（午前10時～午後6時 ＊火曜日休館）

担当：田野、八木

電話 / FAX 06-7163-7108 メール amalove.a.lab@gmail.com

尼崎市文化振興課（平日：午前8時45分～午後5時30分）

担当：田中、原田

電話 06-6489-6385 / FAX 06-6489-6702

関連イベント

・いつでもだれでもワークショップ

出展アーティスト 3 組が考えた創作体験を行います。期間中いつでもだれでも気軽に参加することができます。作った作品は展示に加える、もしくは持ち帰ることができます。

開催期間：8 月 2 日（土）～ 9 月 15 日（月・祝）

時間：午前 10 時から午後 5 時 30 分まで

申込：不要 ＊参加状況によりお待ちいただく場合もございます。

参加料：無料

制作時間：各 5 ～ 30 分

「ダンボールフェアリーズタウン」

開催期間：8 月 2 日（土）～ 16 日（土）

考案作家：三木梨々花

場所：ロビー



ダンボールとパステルで、動物を作るもよし、お家や植物を作るもよし。大きさは自由。たくさん作ってダンボールタウンの完成を目指しましょう。

「みんなでつなぐ木版画アニメーションリレー」

開催期間：8 月 17 日（日）～ 31 日（日）

考案作家：柴原直哉

場所：ロビー



小さな版木を動かして木版画を摺^することで、ずれのある版画ができあがります。前の人の動きを見ながら、つなげたり、外したりして版木を自由に動かしてみましょう。できあがった木版画を撮影してアニメーションをつくりましょう。

「ことの葉^はたゆたゆ」

開催期間：9 月 1 日（月）～ 15 日（月・祝）

考案作家：今今（こんこん）

場所：ロビー・和室



葉っぱの形をした紙に、お手紙を書きましょう。手紙といっても、今日食べたごはんのこととか、楽しかった遊びの話とか、日経つと忘れてしまうようなものを書いた葉っぱを展示作品《声つむ海》の空間に浮かせてみましょう。

関連イベント

・アーティストワークショップ

出展作家を講師とした大人でも子どもでも楽しめる創作体験または鑑賞体験です。

①②は参加者の作品を展示に加える、もしくは持ち帰ることができます。

参加無料・先着順。

※ ②～③は申込不要。参加希望者が多数の場合はお待ちいただく場合があります。

※ ①④は要申込。イベント名、日時、氏名、年齢、電話番号、参加人数を明記の上、
amalove.a.lab@gmail.com までお送りください。

※申込は7月10日(木)から開始。

※ ①②は汚れてもよい服装でご参加ください。

①「ダンボールフェアリー」

講師：三木梨々花

開催日：8月3日(日)、7日(木)、9月7日(日)

開催時間：①午前10時～ ②午後1時～ ③午後3時～

所要時間：約120分(途中参加不可)

会場：Room1

定員：各回12名

※未就学児～小学2年生は保護者同伴



身近な素材のダンボールで机に置けるマスコットか、吊り下げるモビールを作ります。ダンボールを手で曲げてボンドで貼り付け、パステルで絵を描くとダンボールフェアリーになります。

②「木版画を摺ってみよう！」

講師：柴原直哉

開催日：8月17日(日)、24日(日)、31日(日)

開催時間：午前10時～午後5時(午後0時～1時をのぞく)

所要時間：約45分

会場：ロビー

定員：6名(入替制)

※未就学児～小学2年生は保護者同伴



よく知られている浮世絵のモチーフ、富士山や人物の版木を用意しています。それらを組み合わせたコラージュ木版画を摺ってみましょう。本格的な絵具や版木による伝統的な技法のぼかし摺りなどに挑戦できます。

関連イベント

③「ぷかぷか茶の間」

講師：今今

開催日：9月12日(金)、13日(土)、14日(日)

開催時間：午後2時～6時

所要時間：とくになく出入自由

会場：和室

定員：8名(入替制)

ご持参いただくもの：ちょっと大切なもの、思い出があるけれど手放していいもの
(例：旅行先の船のチケット、あのかき食べたアイスクリームの棒、あさがおの種など)

展示作品《声つむ海》の中で、お茶とお菓子を囲みながら、今今と一緒に気に入りのものや旅のこと、あるいは毎日のことについてお話しませんか。ご持参いただいたものを展示の一部にしたり、他の方のものと交換したりできます。お茶・お菓子だけの参加も可能です。



④「声つむ海をただよう会」

講師：今今

開催日：9月13日(土)、14日(日)

開催時間：午前10時30分～

所要時間：約30分

会場：和室

定員：各回6名

展示作品《声つむ海》の中で、イベント中限定で今今が日々の音を流したり、通常の展示にちょびっと変化を加えていきます。寝転んで鑑賞してみたり、耳を澄ませてみたり。展示会場をゆったりと漂ってみませんか。



広報用画像

このプレスリリースに掲載されている画像データ(※ 8 ～ 10 ページ参照)をプレス掲載用にご用意しております。 下記の使用条件をご了承の上、A-LAB までお申し込みください。

使用条件：

- ・ 広報画像の掲載には各画像のキャプション、クレジットを表示ください。
 - ・ トリミングや画像加工などはご遠慮ください。
 - ・ アーカイブのため、後日掲載紙、URL などをお送りください。
- 以上、ご協力の程、何卒よろしくお願いいたします。

出展作家

■ 今今（こんこん）



2018 年に森田朝美・高畑紗依の二人で活動を始める。拾った小石や、何気なく耳に入ってくる電車の音、風で揺れるカーテンなど、誰もが見聞きしたことのあるものを集め、それらをもとに小さなオブジェや影・光などを用いたインスタレーションを制作している。

【主な個展】

2021 年「小波の庭」、kumagusuku、京都

2019 年「耳でみつめる、目をすます」、gallery yolcha、大阪

2018 年「呼吸の部屋」、ROOOM、京都

【主なグループ展】

2023 年「い・き・の・ね -VERSE TERMINAL-」、西淀川アートターミナル、大阪

2019 年「sign 気配」、アトリエ三月、大阪

2018 年「SPARKLING」、chago residence gallery、大阪

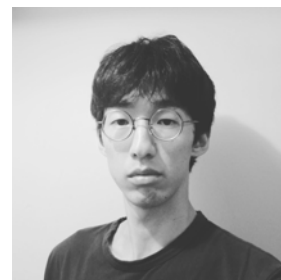
【ワークショップ】

2024 年「A-LAB GO+」『モバイルで景色を作ろう』園田東・大庄北生涯学習プラザ、兵庫

2018 年「呼吸の部屋」『シルクスクリーンワークショップ』chago residence gallery、大阪/ROOOM、京都

出展作家

■ 柴原直哉（しばはら なおや）



浮世絵の伝統技術を用いた、木版画ならではの木目や摺りの質感を生かし、版画ならではの複数性を生かしたアニメーションを独自の方法で制作している。メルボルン国際アニメーション映画祭などで上映。

【主な展覧会】

2025 年「ニュー～パライソ 別世界編」、千鳥橋、大阪

2024 年「二〇〇光年先でまばたき」、FRAME in VOX、京都

■ 三木梨々花（みき りりか）



子どもの純粋さと残酷さといった矛盾を孕む要素に向き合い、その仕草を描くことで精神性や個性の表現を試みている。パステル画や、ダンボールを用いたインスタレーションを制作している。

【主な個展】

2024 「がいなけんいける」、STUDIO KAN、京都

2023 「学校がいやだ展」、京都精華大学 7 号館 7-23 ギャラリー、京都

2022 「Dear mom」、ドラフトギャラリー、京都

【主なグループ展】

2025 「梅田小品展 2025」、芝田町画廊、大阪

2024 「かくれんぼの森」、ギャラリー Terra-S、京都

2024 「プロジェクト企画演習 2023 成果展」、ギャラリー Terra-S、京都

2024 「キテミテ中之島 2024」、中之島駅改札内、大阪

2023 「A-LAB Artist Gate'23」、A-LAB、兵庫

2023 「芸術抄：Art Show! IV」、芝田町画廊、大阪

2022 「生命の花 Flower of life」、ギャラリー Terra-S、京都

【受賞】

2025 年「京都精華大学卒業・修了発表展 2025」理事長賞、芸術研究科奨励賞

参考図版



1



2



3



4



5



6

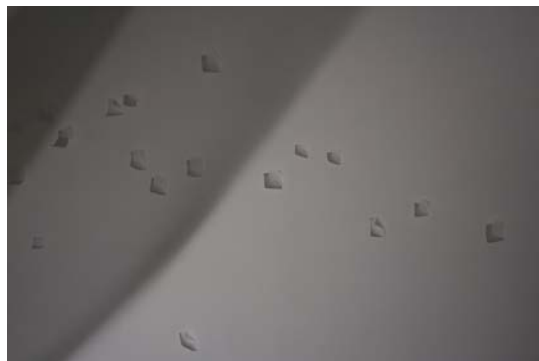


7



8

参考図版



9



10



11



12

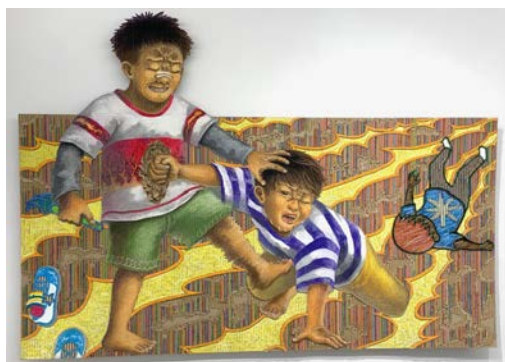


13

参考図版



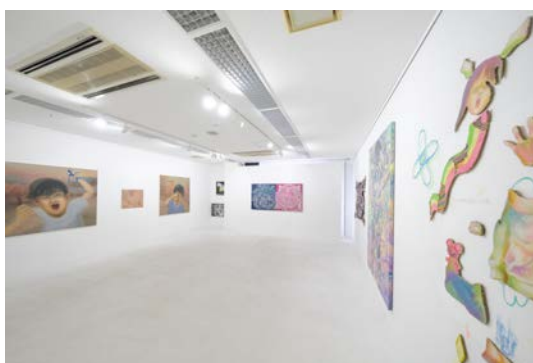
14



15



16



17



18

画像情報

作者名 | 《作品名》 | 『展覧会 or イベント名』 | 場所 | 制作(発表)年

- 1 - 3. 今今 | 《耳でみつめる、目をすます》 | gallery yolcha、大阪 | 2019
 4 - 6. 今今 | 《小波の庭》 | kumagusuku、京都 | 2021
 7 - 10. 今今 | 《点綴》 | 『い・き・の・ね -VERSE TERMINAL-』 | 西淀川アートターミナル、大阪 | 2023
 11. 今今 | 《ワークショップ「モバイルで景色を作ろう」成果物》 | 『A-LAB GO+』 | 園田東・大庄北生涯学習プラザ | 2024
 12 - 14. 柴原直哉 | 《思洞》 | 2023
 15. 三木梨々花 | 《負けられないバトル》 | 2025
 16. 三木梨々花 | 《あれもこれもいるー!!》 | 『京都精華大学卒業・修了発表展 2025』 | ギャラリー Terra-S、京都 | 2025
 17. 三木梨々花 | 《なんて無邪気な》 | 『A-LAB Artist Gate'23』 | A-LAB、兵庫 | 2023
 18. 三木梨々花 | 《バグるあそび》 | 2023

次回展

A-LAB Exhibition Vol.49

新鋭アーティスト発信プロジェクト

「A-LAB Artist Gate'25」

2025 年 10 月 18 日(土) ~ 12 月 14 日(日)

本プロジェクトは、今後活躍が期待される若手アーティストによるグループ展として毎年開催しているもので、10 回目となる今回は令和 7 (2025) 年春に大学・専門学校を卒業、または大学院を修了した方が出展します。

平成 28 (2016) 年に初開催して以来、これまで 61 人のアーティストを紹介してきました。これまで以上に本展が若手アーティストたちの本格的な作家活動の一步となり、今後大きく羽ばたいていくことを期待します。